

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

エネルギーデータの力で、暮らしの未来を変えていく。

市場規模
5,003億円市場規模
9,092億円

② 中長期の経営戦略

1. 次世代スマートメーター対応

2026年導入の第2世代スマートメーターへの対応。計測方式採用により電力データ情報量が飛躍的向上。電力消費者向けサービス拡充と好循環創出を推進。

2. アライアンス体制強化

東京電力グループ、関西電力グループ、日立製作所、ダイキン工業など大手企業とのアライアンス構築。秘匿性の高いデータ取得体制を整備し、付加価値創造を推進。

3. 海外展開加速

英国に子会社設立し欧州の事業・技術開発拠点化。欧州全体での事業実績確立後、アジアを含むグローバル成長戦略を推進。

③ 対処すべき課題

① 業績回復

- ・ 大手賃貸事業者との取引終了による赤字から脱却が急務
- ・ BridgeLAB DRに成果報酬型メニュー新設で導入促進
- ・ 固定費抑制・人員最適化により損益分岐点の引き下げ

② 財務基盤強化

- ・ グロース市場上場達成も業績悪化で慎重な資金管理継続
- ・ 営業キャッシュフロー改善と第三者割当による資金確保

③ 人材確保育成

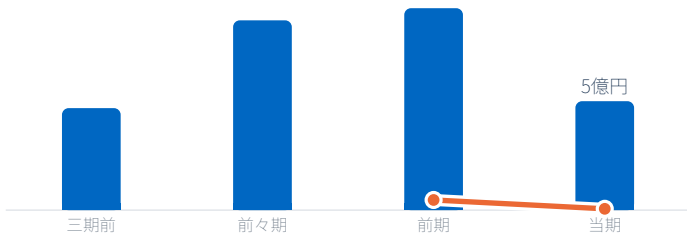
- ・ エネルギーとAI技術の両領域に精通した人材が必須

面接で使えるポイント

- ・ 2026年導入の第2世代スマートメーターが計測方式採用により電力データ情報量を飛躍的に向上させる点
- ・ 東京電力グループ、関西電力グループなど大手企業とのアライアンス体制で新規事業創出を推進
- ・ エネルギーデジタルビジネス市場が2025年度5,003億円、2035年9,092億円に成長予想される中での事業展開

証券コード 281A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
5億円営業利益率
▲118.6%財務健康度
10点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 42.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
802万円

情報・通信業内 97位/592社

平均年齢
45.4歳

情報・通信業内 50位/593社

平均勤続
6.1年

情報・通信業内 313位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 野村證券株式会社がインフォメティス株式会社<281A>株式の

